

Brief AGIH AKIMOTO HOSPITAL Letter

秋本病院ブリーフレター

'06 OCT.vol.36

■早期発見、早期治療に p.1~3
検査も治療もできる「内視鏡」

■中学生の職場体験 p.4
「薬剤師か看護師になりたい！」
福岡市立舞鶴中学校 2006.9.11~9.15

■ソーシャルワーカーのしごと p.4
「家族への支援」

■千一夜医話 p.5
—すこやかに楽しもう—
酒を“百薬の長”にする方法

■くすりの話 p.6
インフルエンザの季節です

■スタッフの横顔 p.6
看護師 土屋 利恵・永田 さおり

検査も治療もできる「内視鏡」
秋本病院3F「消化器内視鏡センター」

病院らしくない、病院

■巻頭エッセイ

芸術の秋。美しい絵画や心安らぐ音楽はそれだけで魅力的ですが、よい美術館やホールには、足を踏み入れるだけで気持ちを高揚させるパワーがあります。つまり私たちは、作品と同時に空間にも癒されているのです。それに比べて従来の病院は、「味気ない」「病院臭い」などとネガティブな印象の強い空間でした。しかし、これから病院は、いくらかでも患者さまの気持ちを和らげ、回復の手助けができる空間でありたい。当院では、そのような場の提供をめざして病院全体をデザインしています。

1階のテーマは「記憶」です。正面に西通り当時の秋本病院の写真を掲げ、初代院長が使用していた顕微鏡などを展示することで、病院の記憶と歴史を伝えています。2階のロビーには、目にやさしく、気持ちをやわらげる植物を持ち込みました。植物は生命力の象徴ですから、造りものではない、生きた植物にこだわりました。椅子や家具は、機能面のみならず、「おや?」とか「おもしろいね」という会話を引き出すことを意図して選定しています。その他の作品は、空間をアーティストに説明し、自由な発想で仕上げてもらいました。

全体として、シンプルで機能的でありながら、どこか「ほっとする」「なごむ」といった「遊び」のある空間が生まれました。いわば「デザイナーズホスピタル」とでもいいくべきこの空間は患者さまにも好評で、「病院らしくない」空間という当初の意図は達成できたと思っています。将来は作品を入れ替えてもいいし、ロビーでイベントを企画するのもおもしろいでしょう。多くのの方のアイデアをいただきながら、成長していきたいと願っています。



essay

— 早期発見、早期治療に —

検査も治療もできる 「内視鏡」

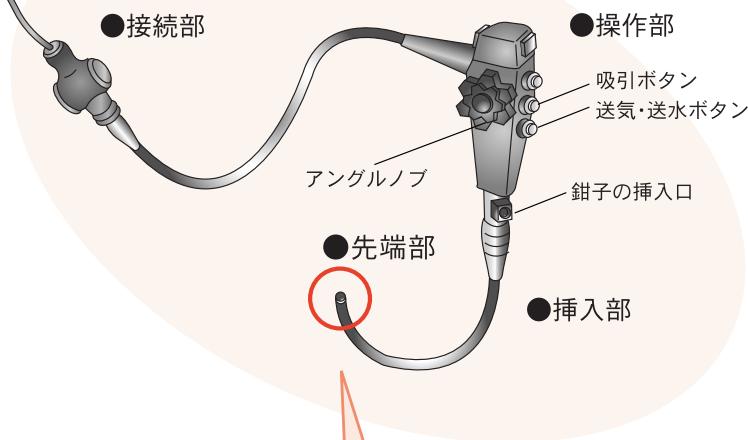
胃痛、胃もたれ、胸やけ、腹痛、食欲不振に便秘、下痢…。身近なだけに見逃してしまいがちな症状ですが、これらは消化器の不調を伝える大切なサインです。早めに専門医の診断を受ければ、病気を早期発見する可能性も高く、健やかな毎日を送ることができます。そこで今回は、消化器の検査と治療に大きな力を発揮する「内視鏡」をご紹介します。

■ 検査も治療もできる「内視鏡」

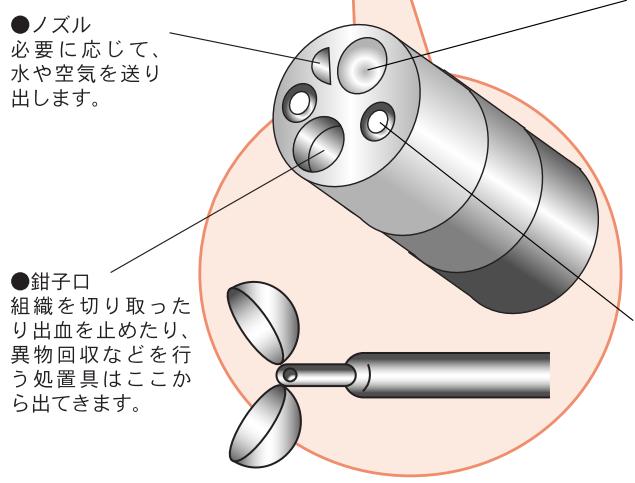
内視鏡検査は、細い管を体内に挿入し、その管の先端に取り付けたカメラ（CCD）を通して、体内の状態を直接モニターに映して見る検査です。食道・胃・十二指腸を検査する「上部内視鏡検査」と、肛門・直腸・大腸を見る「下部内視鏡検査」があり、どちらも消化器内部をそのまま見られるので、ごく初期の小さな病変も見つけること

ができます。現在では非常に細かく先端を自在に曲げられるスコープが開発されたことから、経験豊富な専門医が行えば患者さんの負担はごくわずかになりました。

また、内視鏡はただ内部を見るだけでなく、管の内側に器具を通し、その場で検査や治療を行うこともできます。限界はありますが、がんを切り取る手術のようなことも可能になりました。



内視鏡の先端部



●対物レンズ
このレンズを通じて、超小型高性能カメラが消化器内部の状態をカラー映像でとらえます。

●ライトガイド
体内を照らし、検査や治療をスムーズにします。

●鉗子口
組織を切り取ったり出血を止めたり、異物回収などを行う処置具はここから出でます。

●ノズル
必要に応じて、水や空気を送り出します。

■「X線造影検査」と「便潜血検査」

内視鏡検査以外で一般的な消化器検査としては、白いバリウム液を飲む「X線造影検査」と「便潜血検査」があります。

「X線検査」はバリウムを体内に注入し、その影をX線で透視して全体の形状や位置、内部の異常などを診断するものです。集団検診でもよく用いられます。内視鏡に比べると、ごく初期のがんなど細かい病変は判断しにくいという面もあります。

「便潜血検査」は、肉眼ではわからない消化管の出血をスクリーニングするものです。出血をともなう痔などにも反応しますが、陽性の方の5%に病変が発見され、そのうちの5%に大腸がんが発見されるというデータもあります。

コラム

「腹腔鏡下手術」ってなに?

福岡ソフトバンクホークスの王監督が受けられたことでも注目の「腹腔鏡下手術」。もちろん、当院でも行っています。あなたに5ミリから10ミリ程度の小さな孔を開け、そこから内視鏡の一種である「腹腔鏡」を挿入して病変を切除します。体へのダメージが少ないという利点がありますが、腹部に癒着がある方や心臓や肺に病気のある人など、開腹手術でないと対応できない場合もあります。

消化器内部をすみずみまで見ることができ、直接細胞を探つて検査もできる「内視鏡検査」は、非常に高い精度でかいよう、ポリープ、がん、炎症などの診断ができます。胃がんや大腸がんなど日本人に多い消化器のがんは初期には症状が出にくい反面、早期に発見できれば治療が可能です。がん年齢といわれる40代以上の方や、身内にがんの患者がいらっしゃる方は、初期発見得意とする「内視鏡検査」を年に一度は受けられることをおすすめしています。

「内視鏡検査



り、大腸がんの発見に適した検査といえます。当院では、患者さんの症状や体調に合わせて「内視鏡検査」とその他の検査を組み合わせ、的確な診断を行っています。が2名常勤しておりますので、いつでも安心して検査を受けていただけます。

■40代以上は「内視鏡検査」を

——秋本病院内視鏡専門医——



医療法人AGIH
秋本病院 院長

秋本 亮一
あきもと りょういち

約8000例の内視鏡検査、内視鏡治療経験を持つ。日本消化器外科学会認定医、日本消化器内視鏡学会専門医 ほか



消化器内視鏡
センター長

高木 美行
たかき よしゆき

約3000例の内視鏡検査、内視鏡治療経験を持つ。日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会専門医 ほか

－消化器内視鏡センターでの検査の流れ－

上部内視鏡検査(食道・胃・十二指腸)

月～土曜

前日 夕食は軽めに、午後9時までにとりましょう。

当日 飲み物は水のみ。食事や薬、たばこは控えます。

検査 検査終了まで20分が目安です。



前処置として、胃をきれいにする消泡剤を飲み、胃の運動を止める薬と鎮静剤を注射します。ベルトやネクタイ、コルセットはゆるめるか、はずしておきます。



麻酔薬をのどにスプレーし、マウスピースを通して内視鏡を喉に通していきます。医師はモニターに映った消化器内部を約5分かけて観察します。

検査後は少し休みます。飲食は検査の1時間後から可能です。激しい運動を避け、お風呂はシャワー程度にします。

当院では、通常の喉の麻酔に加えて鎮静剤を注射しますので、違和感や痛みがほとんどなく、楽に検査を受けられます。なかには眠ってしまう方もいらっしゃるほどです。

下部内視鏡検査(大腸)

月・火・木曜

前日 夕食は軽めに、午後5時までにとりましょう。

当日 食事や飲み物、たばこ、薬はすべて控えます。

検査 検査は10分から1時間ですが、前処置から休憩を含めて5～6時間ほど必要です。



前処置として、約2リットルの下剤を2時間ほどかけて飲みます。数回トイレに行き、便が透明の水状になれば、大腸がきれいになつた証です。



鎮静剤を注射して、肛門から内視鏡を挿入します。医師はモニターに映る腸内を観察します。スムーズにいけば10分程度ですが、腸の状態によっては数十分かかることもあります。

検査後は横になって休憩します。おなかが張ってくるので、オナラをどんどん出してください。飲食は1時間後から可能です。激しい運動を避け、お風呂はシャワー程度にします。便に少量の血が混じることがあります。

大腸すべてを検査する「全大腸内視鏡検査」以外に、大腸がんの多い直腸と大腸の肛門に近いS状結腸を検査する「S状結腸内視鏡検査」もあります。



■消化器内視鏡センター（秋本病院3F）

◀ 検査のための独立したスペースです。前処置から検査後の休憩まで、周囲に気を使うことなく落ち着いて過ごしていただけます。

疑問や不明点はお気軽にお問い合わせください。

📞 092-771-6361 <http://www.akimoto-hospital.jp>

薬剤師か看護師になりたい！

中学生の職場体験

福岡市立舞鶴中学校
2006.9.11～9.15

秋の恒例となっている福岡市立舞鶴中学校の生徒さんの「職場体験学習」が、今年はなんと5日間という余裕の日程で行われました。最初の2日間は病棟で患者さんのケアを担当します。検温、清拭、入浴介助を行い、電子カルテの入力もしてもらいましたが、今どきの中学生だけにパソコン操作はお手のもの。聞けば学校でパソコンの授業もあるそうで、時代の変化を感じました。

後半の3日間は、薬局などいろいろな部署で話を聞いたり、自分たちの検診を行ったりと、さらに盛りだくさんの内容です。2人とも子どもの頃に病院に行った経験があり、看護師の仕事に興味をもっていたことから、何事も積極的に取り組んでくれました。ケーブルテレビの取材もあり、指導する私たちもメイクばっちりで気合の入る(?)ひとときを過ごしました(笑)。

実習を終えて将来の夢をたずねると、「薬剤師か看護師になりたい！」という返事が。薬局やソーシャルワーカーの仕事まで体験したことでの医療の仕事への理解も深まったのではないかでしょうか。最後になりますが、ふたりの“看護師”的ケアに協力してくださった患者さまと、各部署の連携にお礼を申し上げます。 (病棟主任 看護師 黒川恵美)



▲どれどれ、血圧はね…



▲病室でできる「足浴」に挑戦。患者さんに「気持ちいい」と言われて、にっこり



▼アイマスクと松葉杖での歩行訓練。
患者さんの気持ちがわかります



▲手術器具を手に緊張～！



医療ソーシャルワーカー(MSW)が行う支援には、入院中や通院中の患者本人だけではなく、その家族(関係者)への介入が必要な場合があります。

昔関わった事例を簡単に紹介します。脳梗塞で入院してきたAさん(70代)という男性がありました。Aさんは内縁のBさん(70代女性)と同居していましたが、Bさんには認知症があるらしく、Aさんの子どもの話では自宅が荒れていて臭く、Bさんも衰弱しているかもしれないということでした。しかし子ども達とAさんの縁は希薄で、家族がその状況に積極的に関わろうとはされません。Aさんは生活保護を受けていましたが、保護課の担当者からは最近訪問したが本人にも自宅にも異常は感じなかったとの報告を受けました。



企画室長(MSW)
社会福祉士
精神保健福祉士

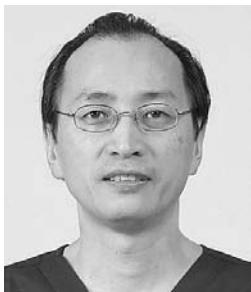
内田 浩穎

うちだ ひろとし

ソーシャルワーカーのしごと 「家族への支援」

しかし気になったMSWはC市の保健師に相談し、一緒にAさんの自宅を訪問しました。すると自宅に近づくだけで異臭が鼻をつき、室内は腐った物やゴミが散乱。冷蔵庫の中身も全て腐ってカビが生え、部屋中に腐臭と尿臭が充満していました。Bさんは痩せこけ衰弱していて、手足の爪は魔女のように長くねじれて伸び靴も履けない状態で、髪はボサボサで服はボロボロでした。MSWと保健師はBさんを説得し、病院に行くことを承諾されたのでそのまま近くの病院まで搬送しました。付近の住民の方は、何か重大な事が起こる前に保護してもらって良かったとおっしゃっていました。

紙面の都合でこれ以上詳しくは書けませんが、患者さまを支援することは、その家族への支援が必要な場合があるというお話をでした。

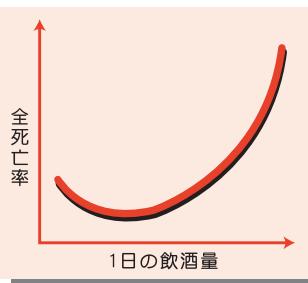


—すこやかに楽しもう— 酒を“百葉の長”にする方法

院長
秋本 亮一 あきもと りょういち

昔から“酒は百葉の長”といいますが、実際、「お酒を適度に飲む人はまったく飲まない人や大量に飲む人に比べて死亡率が高い」というデータがあります。

つまり、酒そのものが悪いのではなく、お酒を薬にするのも毒にするのも飲み方次第というわけです。自分の適量さえ守ればいいのですが、この適量が難しい！ 世の中には、お酒が強い人、飲めない人、飲めなかつたのに飲めるようになつた人などさまざまなタイプがあり、その適量も個人個人で違います。基本的には日本人はお酒に弱い人種ですから、医師としてアドバイスするなら、ほろ酔い程度が適量でしょう。



この夏、福岡市東区で起きた飲酒運転による交通事故。かわいい盛りの幼児3人が犠牲になりました。あまりに痛ましい事故だけに、飲酒運転撲滅の波がこの福岡から発信されたことも喜んでいいのやら悪いのやら、ちょっと複雑な気持ちです。そこで今回はアルコールと健康新話です。

■アルコールの健康への害

○急性アルコール中毒

血中アルコール濃度が上がりすぎてしまって、呼吸を抑制し生死にかかることがあります。いわゆる、イッキ飲みの事故がこれですね。

○アルコール依存症

アルコールには依存性があります。大量の飲酒を長期間にわたって続けると、身体的・精神的な依存性が形成され、飲まずにいられなくなり、飲酒へのコントロールが効かなくなります。アルコールが抜けると禁断症状が出て、さらに症状を悪化させます。人格が崩壊し、家庭や周囲に多大な影響を及ぼすアルコール依存症は悲劇的な病気といえます。

- 1 笑いながら、楽しく飲もう！
- 2 自分のペースでゆっくりと
- 3 食べながら飲む習慣を
- 4 自分の適量にとどめよう
- 5 週に2日は休肝日を
- 6 人に酒の無理強いをしない
- 7 くすりと一緒にには飲まない
- 8 強いアルコール飲料は薄めて
- 9 遅くとも夜12時で切り上げよう
- 10 肝臓などの定期検査を

■適正飲酒の10か条



秋の夜長、おいしいお酒を上手に楽しみましょう。

◎すい炎、食道がん
飲酒は、すい炎や食道がんの原因にもなります。



くすりの話

Medicine Information

インフルエンザの季節です



薬局長・薬剤師

中村 恭子

なかむら きょうこ

毎年、初冬から春先にかけて流行するインフルエンザ。流行が始まると、短期間に膨大な数の人に感染し、抵抗力の弱い高齢者や乳幼児、基礎疾患のある人は、気管支炎や肺炎などの合併症を併発したり、基礎疾患の悪化を招いたり、最悪の場合は死に至ることもあります。そのため予防が重要となります。その基本は流行前にワクチンを接種することです。当院でも11月1日より接種を始めます。ご希望の方はお早めにご予約ください。

Q. ワクチンの効果的な接種時期は？

A. ワクチンの予防効果が期待できるのは、接種後2週から5ヶ月程度です。日本では12月下旬から3月中旬にかけて流行するため、12月中旬までに接種を済ませるのが効果的です。

Q. 毎年、続けて接種する理由は？

A. インフルエンザは毎年流行しますが、病原ウイルスは少しずつ抗原性を変えることが多く、ワクチンも毎年これに対応するウイルス株が選ばれています。ワクチンの感染予防効果は1年は続かないため、原則として毎年、そのシーズン用のワクチンを接種することが必要です。

Q. 接種すればインフルエンザにかかりない？

A. 現行のワクチンではインフルエンザウイルスの感染そのものを完全に抑えることはできません。しかし、接種することでインフルエンザにかかりにくくなり、またかかった場合でも、重症化を抑えることができます。

仕事は確実！プライベートはスノボでハジけます★



看護師

土屋 利恵 つちや りえ

病棟はもちろん、外来や検査センターなどの仕事も確実にこなし、院内委員会・NST（栄養サポートチーム）のメンバーとしても活躍中の土屋さん。病院のムードメーカー的存在です。若いながらもナースとしての経験豊富で、患者さまやスタッフからの信頼度もピカイチ！ プライベートでは、愛犬カブキちゃんのために苦手な早起きも克服したという動物好きの一面も持っています。今年もいよいよ大好きなスノボの季節到来！ ケガに気をつけて楽しんでくださいね！

紹介者・レインボウ

永田さんといえば…おっとりタイプに見えて、実はしっかりモノ。困ったときに相談すると、いつも前向きな意見をアドバイスして、ちゃんとサポートしてくれます。院内の姿からはわかりませんが、実は“沖縄好き”でも有名な彼女。特に、沖縄の音楽や踊りが好きで、家には三線や太鼓もあるそうです。聞けば、沖縄に3年ほど(?)住んでいたというから、本場仕込みというわけです。沖縄のことを知りたい方は、ぜひ永田さんに聞いてみてください♪

紹介者・甘い誘惑



看護師

永田 さおり ながた さおり

STAFF PROFILE

スタッフの横顔

スタッフだけが知っている職員の素顔(?)を紹介するこのコーナー。今日は看護師ふたりの登場です。さて、どんな話が聞けるかな？

「沖縄のことならおまかせ！」のちゅらさんナース♪

当院からのお知らせ

■専門外来が増えました

今年の4月より新たな専門外来を始めました。お気軽にご利用ください。

『肝臓外来』 金曜 午後

九州大学病院第二外科の医師が診察いたします。「B型・C型肝炎の方」「疲れがとれない」「体がだるい」「食欲がない」などの症状がある方はぜひ一度、専門医の診療を受けられるようおすすめします。

『禁煙外来』 月曜 午前・午後 火・金曜 午前

当院健診センター長の秋本千賀子医師が診療します。カウンセリングや薬を使い、12週間でたばこの害から解放されるようにサポートいたします。

■病院駐車場変更のお知らせ

病院隣の立体駐車場休業のため、駐車場が薬院ハーツ角近くの「MUTSUKADO PARKING」(病院より徒歩1分)に変更になりました。外来受診時(平日診療時間内)のみ1時間分の無料券をお渡し致しますので、駐車券を受付にご提示ください。



ブリーフレター35号を読まれた東京在住の向山肇夫さま(医学書院)から、嬉しいお便りが届きました。

■職員表彰のお知らせ

看護師の大森睦子が、救急病院協会より勤続10年の表彰を受けました。ベラン看護師としてさらに研鑽に励んで参りますので、よろしくお願ひいたします。

■メディア取材のお知らせ

昨年3月の福岡県西方沖地震被害について、院長の秋本亮一が取材を受けました。TBS(RKB) 7月14日(金)放送 金スペ特別企画「緊急警告」日本沈没“起こつてはいけない！”



聖イグナチア教会のマリア聖堂で講演をするアルバロ・デ・マリチャラールさん(左)と徳山カトリック教会のファンテス神父(右)

35号(7月発行)の巻頭エッセイで、フランシスコ・ザビエルの子孫でスペイン人冒険家のアルバロ・デ・マリチャラールさんをご紹介しました。アルバロさんはその後、無事に東京に到着され、ザビエルが上智大学創立に深く関わった縁もあって、大学に隣接する聖イグナチア教会で講演をされました。お写真です。

当院の最新情報はホームページで随時更新しています。どうぞご利用ください。



www.akimoto-hospital.jp

■スタッフ活動報告

《院内研修》

7/ 5	「C型肝炎について」インターフェロン治療	講師:高木美行(消化器内視鏡センター長)
8/16	「院内感染予防対策について」 「手術室オリエンテーション」	講師:小宮奈津子(病棟看護主任) 講師:西岡景子(健診・手術フロア看護主任)
8/24	「医療安全について」 「褥瘡対策について」	講師:西原良子(外来看護主任) 講師:黒川恵美(病棟看護主任)
8/30	「マニホールド、液体酸素交換に伴う吸引器の水抜き、日常点検」	講師:福岡酸素(株)

《医療研修》

7/24～7/28(5日間) 平成18年度看護師卒後研修会(看護管理コース) 参加者:入舟亜矢(看護師)

《看護師派遣》

8/ 6 警固校区「第31回けご夏祭り」救護班 派遣看護師:入舟亜矢・前畠桂子



医療法人AGIH
秋本病院
日本医療機能評価機構認定病院
消化器内視鏡センター・健診センター

診療科目

外科(消化器外科)・内科・胃腸科・肛門科・心臓血管外科・整形外科・脳神経外科・放射線科

主な検査機器

超音波診断装置・上部・下部消化管内視鏡(電子スコープ)
CT診断装置・X線透視装置



認定・登録

日本医療機能評価機構認定病院・日本外科学会外科専門医制度修練関連施設・福岡市ミニドック実施医療機関・福岡市胃がん検診精密検査実施医療機関・福岡市大腸がん検診精密検査実施医療機関・福岡市肝臓がん検診精密検査実施医療機関・福岡市肺がん検診精密検査実施医療機関・乳がん検診実施医療機関・救急告示病院・災害指定医療機関・生活保護法指定医療機関・日本相撲協会指定病院・施設基準「開放型病院」適合病院